

館長のおはなし

岩崎城だより

No.70
2025/10/1

近年は夏からすぐに冬になってしまい、秋が短くなった印象ですが、秋は実りの季節。かつては収穫を感謝する秋祭りが各地で開催されていました。その祭りで披露されていた愛知県を代表する民俗芸能「棒の手」。ご存じでしょうか。現在日進市では浅田町で毎年行われています。

棒の手は農民が自衛のために訓練した棒術や神事芸能から発生したものとされますが、その起源の1つに岩崎城に関わる話があります。天文 23(1553)年、岩崎城主丹羽氏次が加賀の浪人を家臣とし、領民に棒術を教えさせ、優れたものを従え、猿投神社に奉納したというもの。丹羽氏次は天文 20 年生まれですから、氏次がというのはあり得ないですが、桶狭間の戦い以前、この尾三国境地域は織田、今川、松平などが争う戦の多い地域でした。農民たちが自衛、そして足軽として徴用された時のために武芸を磨いても不思議はないと思われます。それがやがて民衆の芸能への変化していったのかもしれません。

天正 12(1584)年、岩崎城の戦いでは岩崎城下の町人らが参加したと伝わります。町人と言われると戦うイメージが湧かないかもしれませんが、棒術の訓練が施された町人たちであったなら、池田軍を足止めした丹羽家の功績は町人たちの頑張りも関係したかもしれません。

岩崎城も大きく関わる棒の手。10月25日に棒の手に関するイベントを実施予定ですので、興味ある方は岩崎城へお問い合わせください。



「野紺菊」
いそはたみか

イベント情報

岩崎城歴史記念館 歴史講座

各回先着 30 名(1 回ごとに募集)、参加無料

会場:岩崎城歴史記念館
2 階。市内の方優先、市外の方も参加可能。

申込:③10 月 4 日(土) 9:00~、④10 月 26 日(日)9:00~岩崎城までお電話ください。

第 3 回 「みよしの考古学」

講師:平井義敏(みよし市歴史民俗資料館 学芸員)

日時:10 月 18 日(土)
13:30~15:00

みよし市学芸員平井氏をお招きし、考古学から日進市とみよしの歴史の共通点、相違点などについてお話いただきます。

第 4 回 「見に行こう！ 尾張旭の文化財」

講師:藤森あかね(尾張旭市 学芸員)

日時:11 月 8 日(土)
13:30~15:00

「馬の塔」や「白山林の戦い」など、日進市にもゆかりのあるものをはじめとした尾張旭市の歴史や文化財を、実際に見学できるものを中心に紹介します。

「ほら貝作り教室」

11 月 15 日 22 日 29 日
(全て土曜日、全 3 回連続講座)10:00~12:00
申込:10 月 25 日(土)~

戦の合図に用いられたほら貝を作ってみませんか？持物:牛乳パック(開いていない状態)、軍手、汚れてもいい服、使い捨て歯ブラシ、マイナスドライバー。先着 10 名



「貝合わせ教室」

11 月 2 日(日)
14:00~16:00
申込:10 月 11 日(土)~

伝統文化としての「貝合わせ」を学びながら、手軽に扱える絵の具を使って一对の蛤貝に絵付けをし、自分オリジナルの一品を作ります。



「岩崎城だより」

発行日 2025 年 10 月 1 日(年 4 回発行)

編集・発行 岩崎城歴史記念館

〒470-0131

日進市岩崎町市場 67 番地

Tel 0561-73-8825

Fax 0561-74-0046

<http://www.mf.ccnw.ne.jp/iwasakijo>

◆開館時間
9:00~17:00

◆休館日
月曜日
(祝日の場合は開館)
12 月 28 日~1 月 4 日



第39回 日進市菊花大会

今年も菊花大会を開催いたします。岩崎城址公園内に大輪の菊や艶やかな山菊など、様々な種類の菊がそろいます。秋の花・菊をお楽しみください。

■期間 11月1日(土)～16日(日)

9時～16時30分 観覧無料

キッチンカー来城やイベントなど盛りだくさん！
ぜひお越しください！



第39回日進市 菊花大会

11月1日(土)～16日(日)
9時～16時30分

和のミニコンサート
11月1日(土) 14:00～15:00
生田流華乃会による和のミニコンサートです。入場無料、予約不要です。お気軽にご覧ください。
※ 岩崎城歴史記念館2階

にわさきくん出陣
11月3日(月祝)
11:00～14:00～(15:00)
にわさきくんが元気に出陣します。ぜひ会いに来てください。
当日はキャラ印も頒布します。

キッチンカーもでるよ！
土日祝のどこか。日にち未定

秋のみのりとミニ菊花展
旧市川家住宅
11月1日(土)～24日(月祝) 9:00～17:00
古民家に咲く秋のみのりのディスプレイと菊の花をぜひ見に来てください。
※ 旧市川家住宅(月曜休館 祝日開館)

岩崎城歴史記念館
開館時間 9:00～17:00(菊花大会9:00～16:30)
※ 11月16日(日) 休館(菊花大会最終日)
TEL 0561-73-8825 FAX 0561-74-0046

具合わせをつくってみよう
11月2日(日) 14:00～16:00
参加費 500円
定員 先着10名
申込 10月11日(土) 9:00～予約受付
※ 岩崎城歴史記念館2階

甲冑着用体験
11月9日(日) (無料)
10:00～15:00
軽い素材で作った本物そっくりの甲冑です。お子から大人まで、各種サイズをご用意しております。

冬の特別展

「戦国武将 丹羽氏次」

伊保1万石の大名に出世した4代岩崎城主・丹羽氏次。各地に眠る氏次ゆかりの名品からその生涯に迫ります。

■展示期間

12月13日(土)～1月25日(日)

前期:12月13日(土)～27日(土)

後期:1月6日(火)～25日(日)

■展示場所

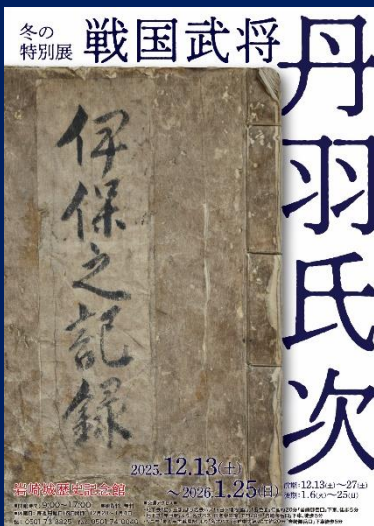
岩崎城歴史記念館

■開館時間

9:00～17:00

■観覧料

無料



棒の手フェスタ 開催決定！

【日時】2025年10月25日(土)10:00

～12:00【場所】日進市民会館小ホール

【子ども向け・入場無料・要申込】

●歴史大好き芸人房野さん棒の手授業！

●四郷地区棒の手保存会演武披露

●棒の手の体験会

詳しくはコチラ→



日進の民俗芸能 棒の手とは？

「棒の手」とは愛知県の中央部、尾張と三河の国境を中心に分布する民俗芸能です。もともとは棒と棒で立ち合うものですが、江戸時代後半から、剣、薙刀、槍、鎖鎌など真剣を使うようになったといわれています。日進を含むこの地域では馬の頭の警固として棒の手が深く関わっていました。他の武術と同じように棒の手にも流派があり、現在では浅田町の見当流が保存会の人たちによって伝えられています。

(参考)鬼頭秀明編 1988. 祭りと伝承 馬の頭と棒の手. 日進町教育委員会発行.

岩崎の民話

『あらばた地蔵さん』



むかし、大廻間地内の田んぼの中の塚に、天をつくような榎の大木が一本立っており、その大木の根元にお地蔵さんがたっていた。「あらばた地蔵さん」といっていた。

地蔵さんは誰がお参りするのか、いつも赤や青や、黄色のよだれかけをかけて立っていた。お地蔵さんは、道を通る人々の安全を守って下さるのだが、その他にも里人の願いを聞いて下さる地蔵さんでもあった。里に「おこり」という熱病があった。そのおこりが出たとき、あらばた地蔵さんを荒縄で三重にしばっておねがいをする、やがてふしぎに熱がおさまるということである。そのあとでかならずお礼参りをし、荒縄をといてあげなくてはならなかった。

※おこり…蚊を媒介して発症する感染症といわれています。

新 収藏品紹介

『棒ノ手免状』巻子・天保十一年

この資料は岩崎村に伝わる棒の手けんてつじょうの免状めんじょうで、二〇

二五年七月に寄贈を受け、岩崎城歴

史記念館に保管されています。免状

とはその流派を引き継いだという証

となるものです。この巻物の前半に

は「散し」「天狗だおい」「笠の羽」「水

引」などの見当流の「型」が書かれ、後

半には見当流を引き継いだ人の名前

が並んでいます。現在、岩崎では棒の手は行われていません。他の棒の手に関する資料とこの岩崎の免状を比較してみると、かつて岩崎で行われていた棒の手の様子が明らかになるかもしれません。

図 『棒の手免状』前半部分の写真

